

# 臨時農業生産情報

(大雪及び風雪に対する技術対策)

令和4年2月15日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表(2022年2月15日16時02分)「大雪に関する青森県気象情報 第1号」によると、青森県では、下北を中心に16日未明から昼前にかけて、大雪となる見込みです。また、16日朝までは風雪に注意してください。

今後の気象情報に十分留意し、被害の未然防止、軽減及び拡大防止に努めてください。

## 1 野菜・花き等のハウス

- (1) 倒壊したり被覆資材が飛散しないようハウスの点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) 野菜・花き等を栽培しているハウスでは、ハウス内を密閉し、保温資材で保護するなど温度管理に十分注意する。
- (3) ハウスの倒壊を防ぐため、ハウスに積もった雪は早めに下ろす。また、ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。
- (4) ハウス側面に積もった雪は、速やかに除排雪する。
- (5) ハウスが倒壊または破損した場合は、速やかにパイプの修復・補強やビニール等の張り替えを行い、保温に努め、農業共済に加入しているハウスについては、損害評価を受けるなど農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。
- (6) 寒締めほうれんそうなど収穫できる作物は、速やかに収穫する。

## 2 りんご等果樹

- (1) 大雪の際は、雪が新しいうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝先を抜き上げる。
- (2) 枝が折れている場合は、折れている部分まで切り戻し、傷口が広がらないようにする。

## 3 畜産

- (1) ロールベールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、シート等で覆う。
- (2) 畜舎等は、破損を防ぐための補強をするとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。
- (3) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (4) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木下 均 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司
電話番号	(野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092 (畜産) 直通 017-734-9496、内線 4814
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 近藤 幹三(内線:4967)

**【おしらせ】**

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。

**県民の皆さまへのお願い**  
**新型コロナ感染拡大防止**



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>